

終戦80年

戦跡記念碑をたどる-6



ブキバトの忠霊塔

BUKIT BATOK MEMORIALS

2026年2月24日 史蹟史料部

第6回目は、日本軍がブキバトに建立した忠霊塔の跡地にある戦跡記念碑をご紹介します。

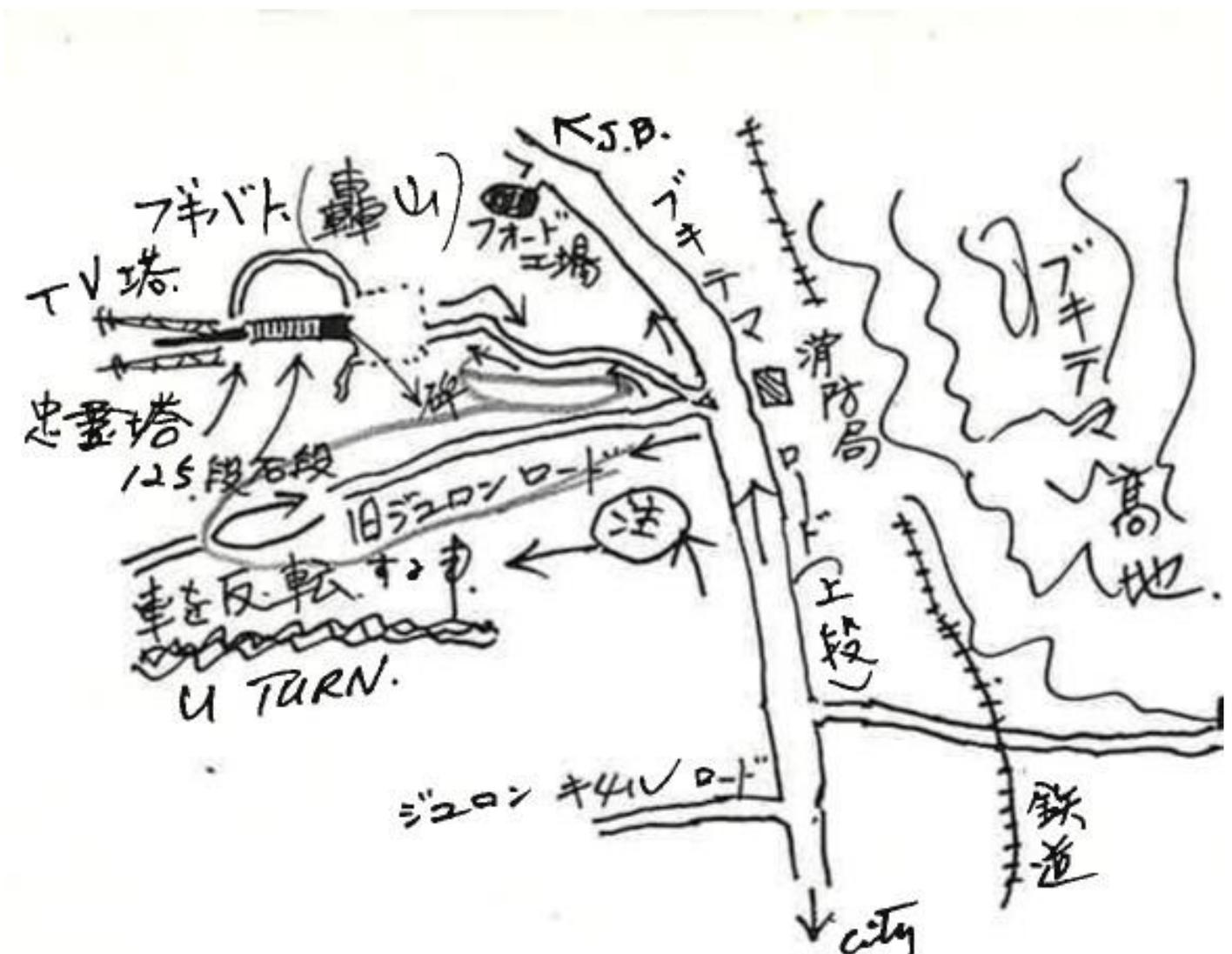
5. ブキバトの忠霊塔 BUKIT BATOK MEMORIALS

設置場所 : Lorong Sesuai, Bukit Batok Nature Park

ブキバトの丘には、かつて「昭南忠霊塔」と「連合軍慰霊碑」という二つの慰霊碑が建っていました。昭南忠霊塔は、シンガポールの戦いで戦死した日本軍の戦没者を追悼するために建てられた日本軍の慰霊碑でした。

日本軍がシンガポールを占領した後、日本軍司令官の山下奉文中将は、戦死した日本兵を慰霊するために「昭南忠霊塔」と呼ばれる慰霊碑の建立を命じました。

昭南忠霊塔の建設地として選ばれたのはブキバトの丘の頂上で、そこからは日本軍と英国軍との間で最も激しい戦闘が行われたブキティマ地区を見渡すことができました。



佐々木賢一さん手書きの地図

また、この場所は 1942 年 2 月 15 日にイギリス軍が日本軍に降伏したフォード自動車工場にも近接していました。



旧フォード工場

さらに日本軍は、マクリッチ貯水池にも「昭南神社」を建設しました。



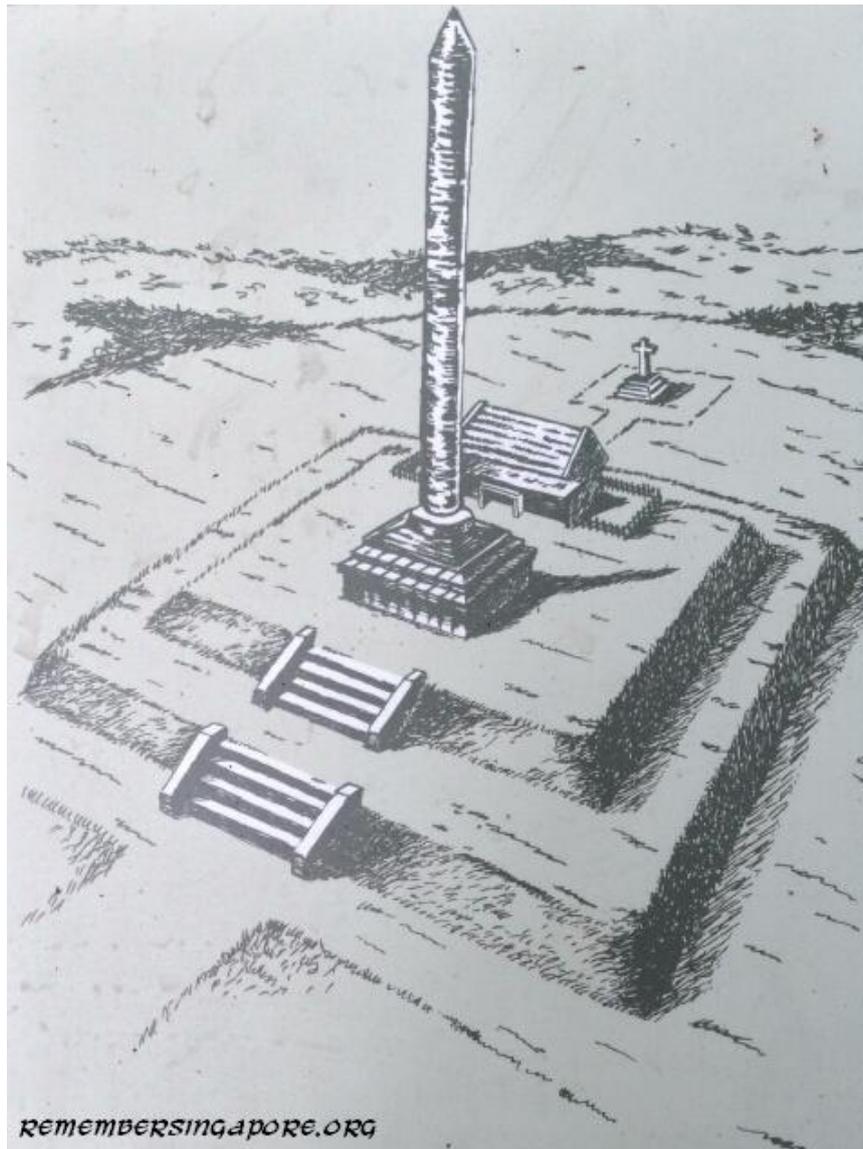
昭南神社

建設には、サイムロードおよびアダムパーク収容所にいたイギリス軍とオーストラリア軍の捕虜 500 名が動員され、日本軍の工兵部隊とともに建設作業に従事しました。

昭南忠霊塔の礎石は、1942 年 5 月 7 日午後 4 時に山下奉文中将によって据えられました。

昭南忠霊塔は木製の柵に囲まれた高さ 12.2 メートルの木造塔で、頂上には真鍮製の円錐が取り付けられ、土とセメントによる二層の基壇の上に建っていました。

記念塔のすぐ背後には小さな祠のような建物があり、戦死した日本兵の遺灰が納められていました。



昭南忠霊塔と連合軍慰霊碑（出典：ナショナルヘリテージボード）

連合軍捕虜もまた、自国の戦没者のための慰霊碑を建立することを要請しました。この要請は、捕虜作業部隊との連絡将校であった根本中尉に伝えられ、彼は上官の田村少佐に報告しました。

日本の伝統に従い、田村少佐は敵方の戦没者を慰霊するための記念碑を建てることを提案しました。

当初、シンガポール戦における第5師団司令官の松井隆久将軍はこの案に難色を示しましたが、宣伝効果により日本の寛大さを示す好機になると判断し、最終的にはこの提案を受け入れ、忠霊塔の背後に小さな連合軍慰霊碑が建てられました。

昭南忠霊塔は、高さ12メートルの木製の塔で、頂上には真鍮製の円錐が飾られていました。塔には「忠霊塔」という文字が刻まれ、これは「戦没者の犠牲をたたえる」を意味しました。

塔の裏には小屋があり、ブキティマの戦いで戦死した人々の遺灰が納められていました。一方、連合軍慰霊碑は高さ3メートルの十字架で、一部のイギリス兵の戦没者の遺灰が納められていました。



忠霊塔の除幕式（出典：ナショナルヘリテージボード）

昭南忠霊塔の除幕式は、1942年9月10日午前11時に行われ、式典には、シンガポールの主要4民族を代表して、華人代表のリム・ブーンケン（林文慶）、インド系代表のS.C.ゴホ、マレー系代表のイブラヒム・ビン・ハジ・ヤーコブ、そしてユーラシアン代表のC.J.パグラーが出席しました。



長い階段の上に建つ忠霊塔（出典：ijamestann.blogspot.sg）

翌日には、英国慰霊十字架の除幕式が行われました。オーストラリア軍のC.A.マキャーン中佐が式辞を述べ、日本軍が連合軍戦没者を追悼する機会を与えたことに対して感謝の意を表しました。

日本占領時代、昭南忠霊塔では戦死した日本兵を追悼する式典が頻繁に行われていました。これらの式典は、シンガポール陥落の日や靖国神社秋季臨時大祭といった出来事に合わせて開催されることが多くありました。

また、各民族の若者たちは、昭南忠霊塔への行進および日本軍戦没者を追悼する式典への参加を義務づけられました。

その様子は日本軍の宣伝部や日本ニュース映画社によって撮影され、日本本国で放映されました。これは、アジアでの戦争に対する日本国民の支持を維持するための宣伝目的でもありました。

1945年、日本の降伏が近づく中、日本軍は連合軍の帰還後に昭南忠霊塔が冒瀆されることを恐れ、自らこの記念碑を破壊しました。戦死した日本兵1万人以上の遺灰は、日本人墓地へと移送されました。

英国慰霊十字架は当初そのまま残されていましたが、その後何らかの理由で撤去され、詳細は不明のままです。

現在、当時の慰霊碑跡地には、戦跡記念碑へと続く石段だけが残されており、その場所にはテレビの送信塔が建てられています。



ブキバトの戦跡記念碑